

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【保健体育／体育】

1. 対象 2年生男子（19名）

2. 単元名

器械運動 「マット運動」 （全10時間）

3. 単元で育成すべき資質・能力

知識及び技能	マット運動について、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行い、条件を変えた技や発展技を行いながら、それらの技を組み合わせることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	マット運動について、自己の課題を発見し、課題解決に向けた運動の取り組み方を工夫しながら、考えたことを他者に伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	マット運動について、積極的に取り組み、仲間の演技を認めたり、援助したりしながら、安全に留意して活動することができるようにする。

4. 本時の目標

回転系、巧技系の基本的な技を身に付けた生徒が、遅延動画や仲間からのアドバイスを聞く活動を通して、それらの技を滑らかにつなげるためのコツや組み合わせの順番について考えることができる。
(思考力、判断力、表現力等)

5. 授業展開【**本時**・単元】

解決したい課題や問い
技と技を滑らかにつなげるためのコツや技の順番を考えよう。

考えるための材料
・教科書に記載されている内容 ・教師の見本や遅延動画 ・グループ活動による話し合い
想定される活動
基本的な技を身に付けた生徒が、それぞれの技を組み合わせた練習を行っていく。グループ活動の中で遅延動画を活用しながら、お互いの技の組み合わせを確認し合い、アドバイスをしあう中で滑らかにつなげるためのコツを考えていく。最後に、本時で考えたコツを意識して演技し、見本の動画と比べながら振り返ることで次時への意欲を持つことができる。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）
・グループ練習でICT機器を利用することで対話生まれやすい雰囲気を作る。 ・ワークシートに「友達のアドバイスや動きから気が付いたコツ」を記入する欄を作ることで、生徒同士の対話を促す。 ・一つ一つの技の着地でバランスが崩れると次の技につなげにくくなるから、着地のバランスが崩れにくい技を組み合わせの方が良いね。 ・巧技系の技を滑らかにつなぐためにはどの技を組み合わせれば良いのかな。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）
・着地のバランスを崩さないように意識して練習をしよう。 ・技の勢いを利用したり、次の技に入りやすくするための着地を工夫したりすることが必要だな。 ・巧技系の技を滑らかにつなぐためには倒立系の技を組み合わせの方が良さそうだな。 ・自分の演技と友達の演技を比べると、同じ技なのに美しさが違うのはなぜだろう。